



重要無形文化財総合指定保持者能楽囃子方(石井流大鼓方)

林清

上京区実相院町

清一さんにお話を伺いました。 清一さんにお話を伺いました。 四拍子と総称する。その大鼓方で、若くから白峯神宮の傍らに居 いますり を構え、上京薪能にも長年尽力してこられた石井流大鼓方の井林 を構え、上京薪能にも長年尽力してこられた石井流大鼓方の門沿があり、これを 囃子方。笛方、小鼓方、大鼓方、太鼓方の四役があり、これを 囃子方。笛方、小鼓方、大鼓方、太鼓方の四役があり、これを

客を引き込んでいく。

客を引き込んでいく。

のなどと声を掛けながら合奏する。ひときわ快い音色が観
は、大鼓(おおかわともいう)、太鼓は互いに「ヤー」「イヤー」
がワキ方。客席から見て右手横に並ぶのが地謡、シテ方の背後、
がりキ方。客席から見て右手横に並ぶのが地謡、シテ方の背後、

る場面」の囃子は謡いを伴奏しているようでもある。があり、互いに入り組んでいる。「謡いと囃子が合わせて奏されいと囃子が合わせて奏される場面」「囃子だけが奏される場面」「謡能楽の一つの演目の中には、「謡いだけが奏される場面」「謡

能楽はあくまでシテ方が主役だが、ワキ方、囃子方、狂言方

独特の音楽劇で、この三方を「三役」と呼んでいる。の協力がなければ成り立たない、室町時代にルーツを持つ日本

ことはない。

でれ一人一芸の分業制度が守られ、担当しない楽器を演奏する栄えを左右することになりかねない。江戸時代以降、四役それがえを左右することになりかねない。江戸時代以降、四役それが、表現もさまざま。囃子方のアンサンブル次第で、演目の出来が表現した。

井林さんは1937(昭和12)年生まれの満84歳、重要無形

文化財総合指定保持者の一人でもある。

生まれ、清兵衛の養子に入ったのが、井林さんの父である。もがなく、金春流の太夫の家である竹田権兵衛家の次男としてを営み、京都市会議員も務めた西陣の実力者であったが、子ど井林さんの祖父にあたる井林清兵衛は、西陣で手広く撚糸業

学んでいました」
人者とも交友を深めており、私もこうした人たちからいろいろ山さん、小鼓の曽和さん、あるいは種田さんなど能楽界の第一山かの父は撚糸業を継いだ傍らガレージなどを経営、狂言の茂

でした」。 でした」。 それが大阪万国博前の昭和4年代前半のことがとの話の中で『大鼓の本職』にならないかと勧められ、この公時は家元不在でこの方が流派の先頭に立っておられました。 石井流はそ

れないが、それでも大鼓一筋、半世紀を超えた。 満3歳になろうとする時だから、遅いプロ化だったのかも知

きく上げて強く、弱く、ある時は抑えて打ちこむ。 てる。これを左手に持って左膝に置き、右手を横に差し出し大に皮を炭火にあて乾燥させて、調べ緒をきつく締め上げ組み立に皮を炭火にあて乾燥させて、調べ緒をきつく締め上げ組み立 放にお道具についての話であるが、四拍子のうち、小鼓と大次にお道具についての話であるが、四拍子のうち、小鼓と大

皮」をはめ、掌に「当て皮」を着けることが多くなりました」曲目が多くなり手に負担が掛かるため、右手の中指や薬指に「指「石井流では、流儀として本来は素手で打つのですが、最近は

ない」そうだ。
きさが思うように叶わないことがある。手元での乾燥も欠かせ、素材の馬皮の入手にも苦労が多い。「こちらが頼んだ枚数や大

舞台への出演は、シ テ方が「ワキや地謡は 誰それに」、「笛はこな たに」、「鼓をお願いす る」と公演ごと、それ ぞれに声を掛けて出演

では年齢や経験によっては年齢や経験によっては年齢や経験によってある程度は固定化しているようだ。井林さんが属する京都能楽会んが属する京都能楽会



意欲が衰えることはない。

| おが衰えることはない。
| 意欲が衰えることはない。
| 意欲が衰えることはない。
| 音欲が衰えることはない。
| 音ができた。「昨今は私が直接指導に回ることはありませんが、息子や若い人たちが頑張ってくれています」といい、
| 室町時代に始まる能楽―その囃子を次代に継承させるき欲が衰えることはない。

(福井 和雄)

BUD COR

周辺)

に藤原氏等の有力貴族

0

邸

御所東 鴨川を望む春日

上京探訪シナリオ研究会 豊田 博

化を、 されてきました。 区文化振興会では上京の史蹟や文 文化を生み出してきました。 なった稀有な地域であり、 京 史蹟と文化」で継続して紹介 「上京区の史蹟百選」 上京史蹟だより」、「上京乃史蹟」、 iФ 京区 かりの史蹟が複層的に積み重 昭和51 (1976) 年より 旧平安時代以降、 や本誌 様々な 各時代 上京

した。 が、 することが出来ません。 記事を参照できるようにしてみま 介しますが、 春日学区」 1 残念ながら個別の文章を検索 れらは、上京区役所の ジで閲覧することができます 歴史と史蹟を鳥瞰的に紹 地域 併せて先人の詳細な (以降、 本稿では 春日と ホ

通

より西

(現在の京都御

春日の歴史

町 都 通 御 春日は概 苑 筋 北は広小路通、 南 ね 0 御霊図子通 東 は鴨 溑 南は丸太 西は京

の範囲 0) 0) 寺町通ですから、 あたります。 安京域 東端が東京極大路、 **図** 0 東 です。 端 のすぐ外 平安京 春日は 現在

京が衰退し、 でありました。平安京の 通 当時は鴨川の河原が河原 るにしたがい平安時代中 あったことから未開 H 900年代) には、 辺り は平安京外であり、 平安時代の初期には、 ´まであ 左京が発展す ŋ 氾 濫原 発 また 寺 0 で 町

> <mark>詠んだ場所として有名な土御門殿年には藤原道長が「望月の歌」を</mark> 級の寺院法成寺 宅が建ち並んでいきます。 から堤中納言と号した藤原兼輔 より東にも、 (図 (5) 参照2) 鴨川堤に住んだこと の東に、 (図④道長の臨終 参照2) **図** 当時最大 1 0 2 2 6 虚が 寺町 や 廬ヶ輔 武産山荒紫 通

> > らないルールを踏まえています)ました。(平安京の内には寺院を作の姿、参照3、参照4)を建立し

ののない荒廃した地域になります。 た戦国時代には春日は特に見るも 市 乱 なります。 街地 権力が衰えるとともに寂れて 栄華を誇った法成寺も、 (1467~1477) により 南北朝時代には完全に廃墟と が 上 さらに、 の町と下の町に縮 応仁・文明の 藤原氏 小し



図 京・上京探訪〜語り部と歩く 1200年〜春日コース 地図は上京区役所ホームページの「京・上京探訪」バナーから閲覧・ダウンロードすることができます。

られた 行願寺(革堂)を始めとして20余日の地域にも、百萬遍知恩寺や 町を拡張・整備するために、 焼失しますが、 08) 年3月の宝永の大火でした。 文新堤の築造)と、宝永5(17 6 7 0 に祀られた三宝荒神に由来します。 参照5、 に遷座、 年 通東側と丸太町通北側の町家や周 苑一帯から鴨川までが内裏も含め 宝永の大火により、 が取り崩されていきました。また、 なった河原町通以東が新地として 口の一つ「荒神口」や鴨川に架け 建ち並 市街地化されだし、 通 (1600) 年には、 寛文新堤」 一称・清荒神、参照4)が現在地 します。 の建設により、 頃から行った寺町の造営と御 の大きな転機が寛文10 びました。 「荒神橋」 参照 6) 志賀越道に繋がる京の七 たも、百萬遍知恩寺や 秀吉が集めた寺院が春 により開発が可能と 鴨川の護岸工事 再建に当たり公家 春日の風 の名称は護浄院 (図 (10)、 また、 護浄院 併せてお土居 現在の京都御 参照4、 慶長5 景は (図 ③ 烏丸 1

0

注 2

明処(図⑬、参照建てられました。 ました。 建てられました。 頼山陽の山紫水地には公家屋敷や幕府の役宅等が を図ることにより乗り越えていき で最初の学区制小学校である64校 えました。 ました。 充実と先進的な勧業施策で近代化 都は人口が激減し最大の危機を迎 もこの時期に開発されています。 図 12 (12) 大半が二条川東に移転させられ 明治維新と東京奠都により、 土盟約の舞台となった吉田 時、 の 「番組小学校」の設置等の教育 寺院を強制移転させます。 春日に建ち並んでいた寺院 参照4)があった東三本木 跡地や、 京都はこの危機を日本 参照4、 河原町以東の新 参照7) 京 屋

注

1

照3、 女紅場 (注2 図⑭)、明現在は御所東小学校)、 学校 にも繋がる教育施設が創設されて 志社英学校 都法政学校 1 8 6 9 春日には、 (注 1 参照 6)、 (新島 (注 3) 年上京第三十番組 図億元春 こ の 明 襄旧邸 時期 と次々と現代 治33年私立京 明治8年 日小学校、 に明 明治5年 図 ② 治 盲 小 2

> 設置、 移転してきました。 は、 都府立医科大学 施策の中心地であり、 いきました。 今出川) 京都牧畜場 明治13年には療病院 は明治時代初期 また鴨川両岸 図8 注 4 参照8) 明治5年に 図 の勧 (三条 (現京

豊臣秀吉が天正18

0 辺

0

小学校」として開校。 中心施設として現代に繋がる。平成7 創立当初は、河原町通丸太町下ル伊勢 (1995) 年に御所南小学校に統合さ 消防署等を兼ねており、以降春日の 邸址に移転(現在地)。当時は集会所 一町、明治10 平成30 (2018) 年 (1877) 年に高辻家

と女工(手芸・手工)の二科を置き、新 九条家河原町別邸内に設けられた。英学 外観を現代に伝えている。 正13(1924)年に竣工、その特異な 都中央電話局上分局(図⑮ 参照9)が大 年には寺町通荒神口下ルに移転(現府立 英学校女紅場と呼ばれた。新島襄の妻で 鴨沂高校)。跡地には吉田鉄郎設計の旧京 ていたと記録がある。明治34(1901) ある八重が、「権舎長兼教導試補」を務め

注 3 注 4 務めた中川小十郎が東三本木「清輝楼」立命館大学の前身、西園寺公望の秘書を

荒神橋東、 わが国で初めて輸入され、 白い花を咲かせたダッチ・クローバーは 希望者に販売もしていた。かつて「おら 造を手がけ、また、羊の毛を刈り取って、 振興の為に設置。搾りたての牛乳を一合 んだ・げんげ」と呼ばれて、この一帯に 一銭で販売し、バター、練乳、粉乳の製 旧練兵場敷地に近代的牧畜の 植えられた。

お葬式

北ブライトホール [堀川紫明] 山科ブライトホール「五条外環] 中央ブライトホール [五条東山] 伏見ブライトホール [丹波橋新堀川北] 大津ブライトホール 「大津駅南] -ル [五条西大路]

家族葬

别邸 [宇治槇島] 向島宇治

^{家族葬専用} **另り 5**5 津 大

[大津駅南]

<u>oo</u> 0|20-004-200

24時間365日対応、無料相談

京都 公益社

が、 と文化」等でもあまり触れられて きな要素です) 氏子の繋がりは地域 が遠慮されたものと思われます と文化」 を紹介致します。 の上京においても、 た下御霊神社の故出雲路敬直宮司 住居は上京区) 在地が中京区であること(宮司の いませんでした。これは、 ついては、 春日の大部分を氏子圏 の編集委員もしておられ 下御霊神社 これまで「上京 に持つ下御霊神社 から「上京 祭りを通じた の結集力の大 図 社殿所 (現代 史蹟 史蹟

下御霊神社

御霊会(貴人の怨霊がもたらす いまうえ に神泉苑で催された悪疫退散 神社として信仰を広めていき、 に由来すると伝わります。 病や災害を、 は御霊神社) めることにより、災禍を防ぐ催し 起源を持ち、 辺りにあった下出雲寺の鎮守社に 平安時代初期に寺町今出川の北 中 世には上御霊神社 (貴人の怨霊がもたらす疫 御霊として祀り、 とともに悪疫退散 貞観 5 (863) (正式名称 尉 0 年



熊野牛王符の裏面に書かれた山崎闇斎 (社家出雲路家所蔵)。

土神(土地の守護神)としての色た時代が下がるとともに地域の産 町今出川北辺りから新町出水の西 町造営に伴い、天正18 彩を強めていきました。 (平安末期頃)、さらに秀吉の寺 (1 5 9 0 社地は寺

仮皇居の内侍所を、

大宮神輿は宝

参照1

上京史蹟と文化48号 廬山寺「鬼の法

の本殿は寛政2 (1790)

年に

く下賜されています。

下御霊神社

ま Щ \Box れたことにより、 0

居内侍所旧殿)や和元年に復活)、

や神輿なども数多

また建物

(仮皇

敷が現在の京都御苑に集中させら 吉や徳川幕府の政策により公家屋 も以降は氏子圏に編入))。 り多数の氏子が移転した二条川東 考えられます。(宝永の大火によ 年に現在地に移転しています。 京都御所付近に定着した事や、 (1331) 年以降は内裏が現在 通 頃に現代に続く氏子圏 西は堀川、 南は二条通) 北は出水通、 が定まったと (東は鴨 元弘元 荒神 \subseteq 秀 0

初期の儒学者、

1 6 1

9-1682

ゆ かり

0

神社でもあります。

江戸時代前期の天文暦学者、囲碁棋士 神道家。貞享暦の作成者として著名。 祭· にて ŋ ました。 0 大宮御所までお神輿が巡行、門前祭・還幸祭の際には仙洞御所及び 土神としての地位を確立していき 儀 江戸時 、明治より中断されていたが令 、神輿の奉安、と、神主奉幣、御所までお神輿が巡行、門前 が行われることが恒例とな 代の下 ·御霊

神社

0

神

に祀られておられます。 また、 信仰が厚く、 E仰が厚く、御遺勅により神社特に霊元上皇は下御霊神社へ 原学者、神道家の山崎闇斎 下御霊神社は江戸時代

す。

霊元上皇より下賜されたものでたが(1709)年に東山天皇、永6(1709)年に東山天皇、

展開 あり、 せつつ独自の説 る多くの弟子を育て、 つ独自の説(垂加神道等)、は崎闇斎は神道と儒学を関連 実践した異彩を放つ学者 門人60 00人と称され その思想 を で

御所や公家の産

行きました。 展覧されています。 年2月22日~ 路家に数多く たことから、 1 7 0 3) 神 は 主 幕末の 出雲路信直 ^{いずも じのぶなお} ました。当時の 勤皇 が、 相伝されており、 関係資料が社家出雲 23日には社務所にて 思想 闇斎の高弟であ へと繋が 0 1 6 5 0 下御霊神 つて 毎 社

の史蹟百選」を入力検索の上ご参照ください。 でそれぞれ「史蹟と文化」「上京乃史蹟」「上京区 ムページのトップページにある「サイト内検索 ウンロードすることができます。上京区役所ホー 以下の参照は上京区役所ホームページで閲覧・ダ

参照2 上京史蹟と文化58号『源氏物語』「若 紫の巻」ゆかりの地-楽」と元三大師「良源」小嶋一郎氏 山本淳子氏 土御門邸跡・廬

参照3 上京史蹟と文化24号 出雲路敬直氏 大路小路 寺町通

参照4 上京史蹟と文化43号 髙木清氏 口通 出雲路敬直氏 東三本木のこと 大路小路 荒神

参照 5 上京乃史蹟 10号 荒神橋 大塚隆氏 古版画に見る上京

上京乃史蹟 28号 上京の古地図 なし 明治開花の家 中島泰之助氏 口と荒神河原 大塚隆氏 上京の昔ば

参照7 と山紫水明 上京乃史蹟 26号 上京の古地図 大塚隆氏

参照8 上京史蹟と文化45号 (下) 出雲路敬直氏 小路

鄭照 9 上京区の史蹟百選 旧京都中央電話局

町名・地名は歴史 社由来の地名 タイ 4 力 セ 編

安倍晴明が居を構えたと伝 方角を守るという意味で、

わ

n

陰陽

京都産業大学 上席特別客員研究員 日本文化研究所 嶋 郎

地名」案内シ 一史の 証 ij H. ズ 0 京 第3 区 0 口 町 となな 名

のに対 また、 社に由 には 町名ひとつ 存在することが多く、 口 に興味深 今回 の寺院もそうでしたが、 由緒ある神社が数多く、 て 幾 は 来 0 院 きた 神社 に完結する場合が多 或 か 神社由来の町名は複数 由 b 0 来 13 0 の興味深 は関連の いと思い が多 由 0 来 町 名の場 0 (々あります。 それ 13 地 ます。 名 町名をご ある町名 だけ広 上京区 で合は、 その につ 前

> か 転 n れ ます。 りと留めているのです の歴史を歩んだ社の記憶をし てしまっ しかし町名は、 たり した社も見受けら そんな流 0

 \star 「竪神明町 横神明町・ 明明町」

安時代半ば が あ -安時代 ?あっ ŋ, 千 現 、猪熊通元誓願寺下ル辺 -本丸太町を中 在、 た場 0 晴 の中心から見れば鬼門 %所とさ 頃 中 崩 でまで 神社 頃 K 安倍 0) ħ 心とする 0 7 内 建 一裏は、 晴 0 ま 明 付. ŋ ず。 0 置 角 現 邸 は 平 在 宅

> 名付けたのだと推測できます た安倍晴明を祀るということ 町 神明宮 لح 晴明町」 社 横 神明宮 神明 おそらくは神様と (神明 町 則ち天照大神 町 という町 (社) 二 が 町名 一神明 有 が見 系

また、 社 0 程 北野天満宮の西 近くに 「神明 町 安京 が 平

安倍晴明像 晴明神社 境内 (写真提供 晴明神社) りますが、こちらは平 多くの神々に寿ぐ あ 穀豊穣を天照大神をはじ 頃より大嘗会だいじょうえ 天皇が 0 たと伝えら が行われ 即 位 0 てきた斎 現 年に行う n 7 在 13 0

なっ 神明 明」を「神明」ととらえ、 当たりません。 晴明神社から、 で、町名を定めた頃の崇敬者は 神社が存在したという古地図 なのですが、 を祀る神社ということになりそう 存在します。 すぐ隣には 回以降に取り上げたいと思 という説 安倍晴明の邸宅跡は もあ ŋ 南へすぐの こちらはまた次 別 前に 0 ・ます。 場 臤



しまったり、

歴史の渦に飲み込ま

地震など人災天災で、

規模縮小を

歴史の

流

n

の中

で、

戦や火災、

偲ばれます。

しかしな

余儀なくされたり、

また移転して

大な境内地・

氏子区域を有して



圓心道 道

∓602-0014 京都市上京区室町通寺之内上ル下柳原北半町 210 TEL (075)441-1968 / FAX (075)441-2972

=602-0898

京都市上京区烏丸通寺之内西入上ル相国寺西門前町 647 TEL (075)451-6050 / FAX (075)451-6051 http://www.enshin.sakura.ne.jp/ 新•古茶道美術品

堂

京都本店・京都市上京区小川通寺ノ内上ル ₹602-0061 TEL (075)431-1366 FAX (075) 431-1370

> https://seishodo.com/ お気軽にお問い合わせください

会」という皇室の伝統を町名に込 めた好例です。

「馬喰町

東京の 馬を大事にしなくてはならない時 馬を育て、調教もするのですから、 う」という意味に近いようです。 ことでした。「喰らう」という字 ことかと思いきや、そうではなく、 とでした。馬肉専門の精肉業者の に惑わされましたが、 のことだと判ったのは随分と後の 「馬の養育、売買を生業とする人」 はじめて「馬喰」と聞いたのは、 今出川通御前を中心とする一帯 「馬喰町」に行った時のこ むしろ「養



北野天満宮 「ずいき祭 神幸祭」 ノ鳥居前 (写真提供 北野天満宮)

代、 ことで、 頷けます。 その地に建てられたということも 道真公も馬を走らせていたという 北野天満宮の境内地は、 所であり、後に道真公を祀る社が、 の初期、 「馬喰」 非常に思い入れの深い場 右近の馬場があり、 も大切な職業でした。 平安時代 菅原

\star Ŀ. 一上天神町・ |御霊前通堀川西入 下天神町 天神北町」 帯

ため、

さすがに天神さんも師匠

よって、

操る雷神も、

た時のこと、

由来は、天神さん

(菅原道真)

たことでしょう。「水火天満宮」 に広い境内地を持つ天満宮であ

上御霊前の交差点を含む、一

1

た延暦寺座主、

は対峙することができず、

この地

0

です。 現在地に移ったのですが、 前上ルに建っています。 満宮」です。 地名の由来となったのは を連想してしまいますが、 ら当時の広さを推測しますと堀川 天神さんというと「北野天満宮 のバス停(南行)のすぐ東側 堀川通の拡幅工事によって、 現在も堀川通上御霊 「天神公園 水火でんと、上記の 町名か



「登天石」水火天満宮 境内

若宮由来の

町

★「若宮竪町」・「若宮横町

をするようになったという話です。

水と火と雷の災難除けの信仰

たという伝説です。以来、都の人々 で石の上に立って天に昇って帰

は北区なのですが、 ります。若宮八幡宮の境内は、 ちょうど建勲北通と建勲南通の間 今宮神社御旅所の斜め向かいにな すと、歩いてほんの数分のところ、 若宮町」・「西若宮北半町 「若宮八幡宮」が建っています。 若宮南半町 大宮通を北大路通から下がりま 西に東が 実

雷神となって、都で猛威を振るっ 立ち向かわんとしてきた 四方か、もう少し東西 工、尊意僧正の法力に、そんいそうじょうもと学問の師であっ 大水を伴って火雷を が、

「若宮八幡宮」の面する「大宮通」

坂田金時、卜部季武、碓井貞光うとかたのきたとき、うらべのすえたけ、うけいさだみつよくく行動を共に、また渡辺綱、よく行動を共に、また渡辺綱、 当時勇名を馳せた藤原保昌とも、 た 源頼光の屋敷があったとされ、ないというです。 武将で、 源氏の館にも、 名は、 K 有能な武人にも恵まれ、 山の鬼退治や土蜘蛛退治で有名な ります。ちなみに源頼光は、 いたという話で、 でしょう。 敷神として祀られていたのが発祥 「頼光四天王」と呼ばれました。 「若宮八幡」 全て上京区内です。平安時 朝廷からの信頼も厚く 同じように六条堀川 神社のあった所には、 八幡神が祀られて の発祥の地でもあ 五条通に面 彼らは俗 屋 0

横町 ・「竪社南半町」・「竹」・「社突抜町」・「社会はいちょう」・「社会ない」・ 竪社

- 上御霊馬場町

御霊前通大宮西

時代の です。 理する役所兼宿泊施設のような場 す施設のことで、 密接な繋がりを今も残しているの で、 社」にもお参りをします。 神社と併せて、 現在も、 は、 の女性が、 が決定すると、 だったのです。 西 そのことが賀茂祭 賀茂の神に仕える予定の皇族 陣にあるこの町名の指す「 一櫟谷七野神社」のことです。 「斎院」とは、 「賀茂斎院」 賀茂祭 (葵祭) 精進潔斎のために過ご 必ず「櫟谷七野神 上賀茂神社・下鴨 当時の朝廷が管 「斎王」 跡 (葵祭) のひとつ の斎王代 平安 とい 社 ع

代表として、上記4町を掲載いたしました。 れる町名がまだ幾つかありますが、今回はその 周辺には「櫟谷七野神社」 由来と考えら

現在境内の南を東西に走る通りは 0 馬場

驚いてい 繁に自転車で通り、 生時代から、 寺町丸太町に移転し、 ます。「下出雲寺」 ある歴史の古い神社です。 出雲寺」の鎮守の社であるとされ は、古代、出雲族の氏寺である「上 下御霊神社」 南 |側の道が非常に幅広 たものでした。 で、 その都度神社

一御霊前通寺町西入 [霊神社]通称名「上御霊神社

が

ほい

今も5月の「御霊祭」では、

御霊神社の周囲を頻 こちらは現在、 の鎮守の社は 中京区内に 私は学 500 声と共に、 る神社が建 角に、 出 一幸神町 今も この馬場跡を巡ります。

では、 境界を表しているの は古代に建てられた います。 出 雲寺」 と推定され の西の

どうやら いことに

の跡のようです。



神輿渡御の様子

幸神社 鳥居

っと!ほいっと!」の掛け 神輿 の端を表す 幸 は 賽 賽は に通じ、

れたのではないでしょうか。 の役割を果たしていると伝えられ が彫られる等、 れ、 で縁起の良い漢字 神社の境内には石神様が 本殿奥の建築彫刻には 平安京の鬼門 が後に同じ発音 「幸」に改めら エリア 祀 猿

寺町通上立売一 [町柳から商店街を抜け、 mも歩けば達する住宅街 って で「幸神社」 i V 筋下ル ・ます。 と呼ばれ 西 入 説 西 0

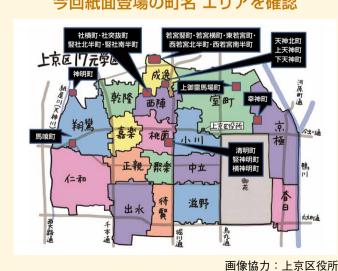
ます。

櫟谷七野神社

石碑と鳥居

御霊祭

今回紙面登場の町名 エリアを確認



新上京の告ばなし

|郵便| 始まる

京 が 都 ではなくなった

のの、 行幸、 7 月 17 日) 省・大蔵省・兵部省・刑部省 幸する際、「天皇の東京滞在中」と ら天皇はいったん京都に戻ったも かった。 応4年10月13日) と定められた。 改める「江戸ヲ称シテ東京ト為ス 上位に位置し、 まず神祇官が復活して太政官より した二官六省の復古的な官制で、 した上で太政官が東京に移された。 ノ詔書」が発せられ、 太政官は「祭政一致」を原則と 1 868年9月3日 翌 69 これに従う貴族や官吏も多 京都市民への配慮などか に江戸の名称を東京と (明治2) 年に再び行 同年11月26日 太政官の下に民部 に天皇が東京に 元号は明治 (慶応4年

> され、 翌 71 年5月に京都府から宮中に移され すことが出来ない現実となった。 同 目で置かれた官職)は70 で代理として国政に当たらせる名 より先、 機関が次々に消えていった。 西両京に置いた」はずの中央行政 の京都留守・出張所が廃され、 でに大蔵省・兵部省・刑部省など まま残ったが、 2年12月に京都の宮内省に合併 一方、 京都が都ではなくなる。そんな (明治4) 年8月23日には廃 東京への首都機能移転は覆 留守官(君主不在の皇都 京都では京都御所はその 71 (明治4) (明治3) これ 年ま 「東

> > 民から巻き上がったが遅かった。 敷がひっそりとしている。「天皇は ど出入りが多かった薩摩藩の京屋 んをとられたらあかん」の声が にやら居られなくなった。 あれ 住

政 府 の 通 信 担 う 驛 逓 司

置され、 ずか1年の命だった。 逓役所ト称ス」とされてから、 四月廿一日京都宿駅役所ヲ改 に早くも「廃シ其ノ事務ヲ京都 かれたが、 担った。京都には出張駅逓 年閏4月21日) ニ属ス」ことになった。「元年閏 駅逓司は8年6月11日 政府の運 翌 69 に民部省の (明治2) 輸 ·通信部門 (慶応 年5月 下に設 司 ジメ駅 が 置 わ 府 4

き が定められた (※1)。 輸 知恵も資金も乏しく、 府には新しい通信制度を生み出 る「御用状京都へ定便差立の規則 の宿駅や飛脚の制度がそのまま続 駅逓司は発足したものの、 同年12月に東京・京都間 通信を重要視した証とも言え 旧幕府時 新 0 政

内省・外務省が設けられた。

13

のはずのお公家さんがいつの間

宮

上がった。

けれども近所にお住

ま

京名物 柚

うてるのか。

市中―ことに上京の 誰がそんなことを言

はずはない。

住民からは悲鳴にも似た声が沸き



₩ 和光印刷株式会社

E-mail:info@wako-print.co.jp

-10 -

ヨキモノ」を創る

鹅屋去

http://www.tsuruyayoshinobu.jp

現在とは貨幣価値が異なり一 御用状 だったことは察せられる。 換算出来ない められ、 目方 (重さ) 十八両壹分二朱余」が必要だった。 一三日限便で金廿三両」「書状の この 規則では東京から京都まで (公用便)を運ぶ飛脚賃は 別に「人足六人分の賃金 が、 は五百匁まで」と決 途方もない 高額 概に

便し、 仲間は 安すぎた。 時代の規定の10倍以上に引き上げ 道の定飛脚荷物の継立料を旧幕府 ていたが、 れより早く民間の定飛脚問屋 新政府もこれに応じて東海 69 (明治2) 高騰する物価に比べ 年8月から増

が、 司へ」 質にも通じるのではと思わず笑っ は、 道を記しており、 ハ不在此限 てしまう。 御用状は この限 その後すぐに 差し出すように定めて りではない)」と抜け 「定日七ツ時迄ニ驛逓 (特別の事情がある時 現代の公務員気 「格別之御用柄 る

欧 米 並 4 の 新 式 郵 便

70

(明治3)

が 国 たものの、 を定めて逓送することを決める 新政府にそれをいつまでも負担で 間で一体いくら掛かっていたのか、 飛脚に託すことを止め、 往復6日を10日と改め、 東京間における毎月6回公用便 きる財力があったとは考え難 (京都府史・下)など改善に努め 東京・ 70 [も欧米諸国と同様の 東京間往復急公用状を三都定 を創立しなければならない (明治3) 年3月には「京都 京都間 「これではだめだ。 0 飛脚料金が 京都 別に賃銭 「新式郵 大 わ 年 0

> を勤 に租税権正に命ぜられた前島密 と考えたのが 成所」 潟県上越市) 務することになった。 1カ月後にはさらに駅逓権正ち 前身に当たる薩摩藩の洋学校 政府に出仕するまで、 1835-1919) 前島は越後国頸城郡 め ·ていたが、 の蘭学講師、 の豪農に生まれ、 租税権正 数学教授など 東京大学 だった。 現在 年4月 就 を 0 開 O新 新

く飛 す弊害を改善するには古代 書運送費や伝馬所、 定飛脚問屋に支払う多額 そのために 脚 制 度 の改革が何より も新 助郷がもたら 政 介所が 2から続 の公文 自 必 要

れば国家の安泰が

図

れ

な

٥ ر ۱

これ 制

「新式郵便」創業時の 書状集箱(後世の参考品) 0

出 我

営の通 制度に変えなけ 前に支払う 切手で国家に事 便を含めた書状 なく民間 公用便だけでは 送達を取 料金は賃銭 信 の私 事 ij 業 扱 用



前島密を描いた普通切手。左から 1946 年発行の 15 47 年発行の 1 円。51 年発行の 1 円からは同じ 像図案だが、額面が銭単位(51年)、円単位(52年)、 円単位右下にローマ字 NIPPON 入り(68年)、同大 (2011年) と変わり、現在は左下に NIPPON 入 (15年)が使われている。

利 建義を提出した。 益 を 見 込 ん だ 前 島 密

で、

同年6月に民部 前島が描く

大蔵両省会

「新式郵便」

度

議

を体系づけていった。 カの通信制度を学び、 に立教大学の創始者) アムズ 教師チャニング・ 前島は長崎留学中に出 (1829 - 191ムーア・ それは「『密 自らの構想 からアメリ 会った宣 ウイリ Ō 後

方だった。 どコスト削減が出来るという考え 往復の密度が大きければ大きいほ 度』から収支を償う」という、一

00文、 となる。 扱い便を見込めば、 る。さらに東海道筋各地での取り 0 文とすれば十分に収支が償え しても、 すれば1通当たり954文の計算 合わせて一往復に300通を伝送 御用状だけではなく民間の書状を の護衛を含め)として、 利益となるはずである の経費を286貫220文 当時の東京から京都まで一往復 これに諸経費が必要だと 同じく大阪まで一貫50 東京から京都まで一貫4 収入はすべて 新政府の (夜行

制を実施するため予め切手を発行 ポスト)を置くことや、 するための書状集箱 別に算出する、また郵便物を収集 継走とする、 に施行する、 島を中心に▽東京─京都・大阪間 建議は太政官の決裁を得て、 ▽各地宛の料金を個 ▽送達は飛脚による (現在の郵便 料金前納 前

することなどが考えられた。

開 設 を杉浦 譲 に託 し 7

後任の杉浦譲 建議した「新式郵便」の開設準備は 0 ギリス出張が命じられ、 蔵大丞、上野景範の差添としてイたいじょううえのかげのり。ことでといれため大調達にトラブルが起こったため大 治3年6月17日)、 兼任を解かれた。このため自ら ところが前島は70年7月15日 1835 1 鉄道敷設の資金 駅逓権正 明

3年12月4日) ヲ設ク」、 旧 た。これより先、 キ其規則ヲ定ム」が出され 年正月24日)に太政官布告 め、 度構想の修正・具体化を進 に「京都府下姉小路車屋町 17 東海道筋ニ新式郵便ヲ開 金座跡 日 杉浦は前島の新式郵便制 71年3月14日 (明治3年11月27 二駅逓司郵便役所 1 月 24 日 K 同年1月 「郵便開 (明治4 (明治 日

> いる。 ヲ定ム」 設二付書状集箱及切手売捌所掲札 **%** 2 などを通達し

書状 は 36 時 貫 四 百 文

3月1日)から東京―西京(京都 では>71年4月20日 始める、 大阪の間を39時で結ぶ郵便制度を 新式郵便ヲ開ク」太政官布告 ▽料金は東京より西京ま (明治4 年



京都にあった創業時の書状集箱(郵政博物館収蔵の歴史資料写真)

立場(後の郵便取扱所)を設け飛校を交付する、▽東海道各駅に継校を交付する、▽東海道各駅に継 と細かく示された。 間には随行員一人を付ける―など 進むこととし、 までで、 脚夫を配置する、▽飛脚夫一人が 銭百文、銭二百文、銭五百文の4 3時6分百文(※3)など距離に 時一貫五百文、 運ぶ荷物の重量は3貫目 額面を発行。京都府へは5万2千 応じて料金が高くなる、▽切手は で36時一貫四百文、同大阪まで39 「賃銭切手」と呼び、銭四十八文、 2時間に5里 安全確保のため夜 西京から大阪まで (約 20 l(約11 km kg

番組小で切手を売捌 <

捌く、 他、 院の現中京郵便局の地に移転) 校 大宮今出川上る上京十一番組小学 烏 は駅逓司郵便役所 丸下立売上る田中勘右衛門宅、 京都ではさらに、▽「賃銭切手」 (のち桃薗小学校)、 上 ▽書状集箱も同役所の ・下京の番組小学校でも売 (後に三条東洞 五条寺町 0



「書状集箱」が置かれた街角には 150年が過ぎた現在も郵便ポストが立っている 上は姉小路車屋町、下は下立売烏丸

度會縣 岡崎藩 龜山藩 膳所藩 信書御取開二付東海道品 桑名藩 水口藩 小田原藩 大津縣 神奈川縣 堺 韮山縣 苅谷藩 高槻藩 豊橋藩 縣

92年刊) による

(福井

和雄

の資料」七建設交通通信編

19

% 1

% 2

※ 3 は

「京都府百年

(※1)「御用状京都へ定便差立の規則

九両三

(※3) 1分は1時

(いっとき)

の 10

分の1、

時は2時間。1分は12分になる。

テ日々差立方幾度ニモ及候テハ御失費不容易儀 ニ付以来京師へ定便毎月五十定日ト相定六日切 明治元年十二月二十四日 法令全書第千百四十一(行政官)五官東京府 諸官ヨリ御用状京都へ差立之定賃別紙之通こ

それから150周年を数える。 式郵便創業」。今年2021年は こうして迎えた1871年4月 (次号に続く) の「新 朱餘 ※以下、 一六日限便金六両、 同人足五人拂此賃金十五両一分一朱餘 東京ヨリ京都迄仕立て飛脚費 但右同断 宿繼ニテハ人足六人拂此賃金十八両壹分二朱餘 但目方五百目迄 五日限便金七両、 三日限便金廿三両 四日限便金七両 人足四人拂賃金十二両 人足三人拂賃金

八日限便金四両、人足二人拂賃金 六両二 足一人拂賃金 三両一朱餘」 二十日限便金二両二分、人

名護屋藩 静岡藩 (※2)郵便開設二付書状集 (達) (太政官) 法令全書第八百八十九 明治三年十二月四日 札ヲ定ム 箱及切手売捌き所掲 藩

地 名 時 間 賃

銭 伏 見 分 100文 3 時 6 分 大 阪 100文 大 津 100文 神 戸 400文 名 屋 500文 静 岡 23時 4 分 900文 横 浜 1 貫400文 東 京 1貫400文 1分は1時の1/10、1時は2時間

京都から各地への所要時間と賃銭表

右定日ニ可差出様屹度相心得可申事 ヲ以被差立候間諸官トモ精々入念御用状相纏メ 但定日七ツ時迄ニ辰ノ口驛逓題司へ可差出事 右之通御規定相立候問爲心得申達候事 格別之御用柄ハ不在此限 メ箱切手賣捌所別紙雛形之通リ至急製造可致尤 川ヨリ大津迄城州伏見ヨリ河州守口迄關内驛々

入南側山本伊三郎宅の各軒先に置東北角岡本彌兵衛宅、四条室町東東北角岡本彌兵衛宅、四条室町東

くことなどが周知された。

20 日

(明治4年3月1日)

(別紙雛形 切手賣捌所軒下へ可捌示事 切 手賣捌所 二尺五寸 (合印八朱)

右寸法自然辨解候儀モ有之ハ、民部省へ申出可

書状集メ箱並切手賣捌所可取筈ニ付右書状集

京都市指定

(24時間・年中無休) 水を大切に



..(075)451-3123 FAX.(075)432-2874 〒602-8072京:上京区中長者町通新町西入

0120-350672

般 消 防 全 設

がみんなで花を咲かそう 活動ボランティア募集

上京区役所前の花壇は、ボランティアの皆様に、毎日水やりや手入れをしていただいています。また、年に2回、季節の花々に植え替える「一斉植替え」を行っています。

現在、色とりどりのハイビスカスと、立派なゴールドクレストが植えられています。一緒に花のお世話をしてみませんか?

興味をお持ちの方は電話、FAX又は、窓口(1階①番窓口)にてお申込みください。

対 象:区内在住の18歳以上の方(高校生除く)

問合せ:上京区役所地域力推進室(まちづくり推進担当) TEL 075-441-5040 FAX 075-441-2895



表紙写真

献のきじんに 梨木神社(京都市上京区寺町通広小路上ル):萩 撮影:写真家 水野克比古氏

梨木神社は、贈右大臣正一位三條実萬公と内大臣正一位大勲位公爵三條実美公の二柱の神様をお祀りしており、学問·文芸の神様として崇拝を集めている。境内には、雨月物語の著者である上田秋成翁や日本最初のノーベル賞受賞者である湯川秀樹博士の歌碑が建立されている。

「萩」は、万葉集を代表とする植物で、「萩の宮」と称するほど、境内には萩が咲き誇り、古今を通じて和歌が詠まれ、現在も京の萩の名所として参拝者の目を潤す場となっている。

【上京区文化振興会の事業について】

本年度の「上京薪能」および「上京茶会」は、昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響により開催をとりやめました。楽しみにされていた皆様にはお詫び申し上げますと共に、ご理解くださいますようお願い申し上げます。一刻も早い感染拡大の収束と、皆様の安全をお祈り申し上げます。

【広告主募集中】本誌に広告を掲載しませんか?

「上京-史蹟と文化」に有料広告の掲載を希望する広告主を募集します。商品のPRや企業のイメージアップに、ぜひご検討ください。

問合せ:上京区役所地域力推進室(まちづくり推進担当) TEL 075-441-5040 FAX 075-441-2895





4

1 5 0

4

Ō

売買や相続、建築・リフォーム、残置処分にいたるまで 住まいにまつわるお困りごとはお任せください。

寺社仏閣の借地管理等で培った豊富な経験でお手伝いいたします。



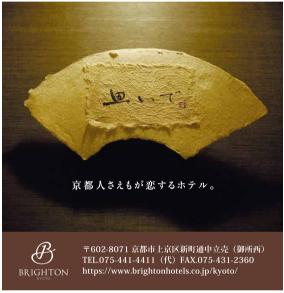
いにしえの町を、想う。玄武管財

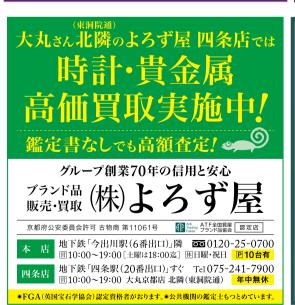
602-0898 京都市上京区相国寺門前町647番地1 **L** 075-411-1214

info@kyoto-genbu.co.jp http://kyoto-genbu.co.jp/









同志社大学 広報部 広報課 TEL:(075)251-3120



上京区文化振興会・上京区役所 印刷





山田松



京都 北山

洋菓子

マールブランシュ 京都 北山本店

〒603-8053 京都市北区北山通植物園北山門前 TEL (075)722-3399 · FAX (075)702-9440 9:00AM-6:00PM 年中無休(喫茶10:00AM-6:00PM) www.malebranche.co.jp

単なるデリバリーカンパニーでなく、 人や企業の信頼を結ぶ運送会社です

どんな内容もまずご相談を!

商品のお預かりから梱包作業、配送まで

<u>封入作業・ダイレクトメール(DM)配送・郵便出荷代行</u>

機密書類の溶解処理

配送・チャーター便(軽貨物~4t車まで)



株式会社 デリバリーサービス 〒604-0907 京都市中京区河原町通竹屋町上ル大文字町238番地



TEL(075)662-8255/FAX(075)662-8257 https://delivery-service.jp/